

# 風松報校

～ つながる ～

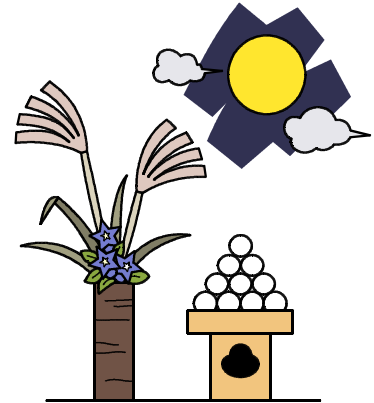
令和元年 9月 5日  
由利本荘市立新山小学校  
学校報 第25号  
発行：校長

## 秋の気配がいっぱい。

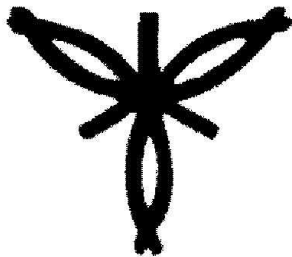
9月に入り、めっきり朝晩過ごしやすくなりました。昨日、トンボを捕まえた校長室に見せに来てくれたお友達がいました。そういえば、学校の周りをトンボがたくさん飛び交っています。夜には、耳を澄ますと虫たちの賑やかな音楽が聞こえるようになりました。また、内緒ですが、学校の敷地に食べられないけれども立派なキノコが生えているのを見つけ、驚きました。

日中は暑い日もありますが、そこかしこに秋の気配が感じられるようになり、嬉しい気持ちになりました。

秋は、空気が澄んで気持ちのよい季節です。学習に集中でき、じっくり読書をするにも最高の季節です。そして、これまで頑張ってきたことがぐんと伸びる時期でもあります。稲穂が実るように、子どもたちの頑張りが大きな実りとなり、一人一人の自信となることを楽しみに、見守っていきたいと思っております。



## 新山小学校 53回目のお誕生日 おめでとう！！



<校章>

9月6日で、新山小学校は53歳になります。

新山小学校が創設されたのは、昭和41年4月1日。9月6日に新校舎入校式を行ったことから、この日を「開校記念日」としています。開校記念日は、みんなでお祝いできるようにと、学校の祝日として毎年子どもたちはお休みになります。ですから、明日はおうちで学校のお祝いをしてください。

さて、今回は、子どもたちの名札に付いている校章について紹介します。この校章が制定されたのは、入校式を行った同じ年の7月12日のことで、次のような意味が込められています。

真・善・美への指向と三地区の統合を表し、松葉の交わりは、松のごとく永遠に緑で美しく、人間の愛を基礎にした人間関係を象徴したものです。

当時、鶴舞東小学校、南内越小学校、松ヶ崎小学校深沢分校の三校が統合して、石脇地区に1145人の児童が通う学校が誕生したのです。地域の方々はどれほど喜んだことでしょうか。大いに活気づいたことと思います。学級数は今と同じ30学級ですから、1学級の人数が40人近い状態であったことが分かります。

校章の松葉は、学校の周りに青々と広がる松林から取り上げられたと思われませんが、寒い冬も緑のままで変わらない強さと美しさを備えていることに併せ、松の植林に尽力された石川善兵衛翁の功績を称えるとともに、善兵衛翁の高い志をも受け継ごうという思いが込められているように私は感じています。

真なるもの、善なるもの、美なるものを希求する人間の究極の理想と、当時の学校に対する熱い思いが、子どもたちの胸にいつも名札として掲げられています。



# ☆☆ スポ少等の活躍・おめでとう！ ☆☆

○男子バスケットボールスポーツ少年団  
【第20回大森ミニバスカップ】 第3位



○新山グリッターズ野球スポーツ少年団  
【第17回東北学童野球新人大会本荘由利地区大会】 優勝



○新山ベアーズサッカースポーツ少年団  
【第24回由利本荘市・にかほ市スポーツ少年団種目別交流会】  
＜サッカー競技 U-11の部＞ 第3位



↑U-12の部で優秀選手賞を受賞した6年○○○○さん